

## 子の医療費助成拡大を

横浜市議会 白井議員が要求

横浜市議会で25日、日本共産党の白井正子市議は、2014年度予算議案に関連して質問し、子どもの医療費助成拡大や中学校給食の実施を求めました。

白井市議は、小児医療費助成制度の対象が小学校1年生までにとどまっていることに対し、子育て世代で貧困が深刻化していることを直視すべきだと強

調。新年度拡充した横須賀市(小3まで)、逗子市(同)など県内他市と比べても、最低レベルの水準だとして、対象年齢引き上げを求めました。

中学校給食の実施をめぐり、市教育委員会は「子どもたちの体調や栄養バランスを考慮した個々に応じた昼食のほつが望ましい」として家庭弁当を基本としています。

白井市議は、学校給食法が、成長期にある児童・生徒の心身の健康の保持増進と体位の向上を図ることや、正しい食事のあり方と望

ましい食習慣を育成することを目標に、地方公共団体に学校給食の達成に努めるよう定められていると指摘。市教委が、個人差が大きい中

学生には家庭弁当が良いとしていることは、学校給食法を否定したものだ、林文字市長の認識をただしまし

林市長は「家庭弁当にも良さがあるとの考えを答弁したもので、学校給食法を否定するものではない」と答えました。



質問する白井市議